

コープ災害ボランティア ネットワークニュース

発行2013年11月 第68号
東京都生活協同組合連合会
コープ災害ボランティア
ネットワーク幹事会
TEL03-3383-7800

東京都・新島村合同総合防災訓練に参加しました

10月19日(土)東京都・新島村合同総合防災訓練が行われ、東京都生協連として、応急生活物資の搬入と、展示・体験ブース出展で参加しました。

南海トラフ巨大地震が発生すると、新島村では30.16mの津波が17分で到達するという想定です。

10月16日に伊豆大島を襲った台風26号の救援活動のため、訓練は規模を縮小して行われましたが、一刻も早く高台へ避難するという実践的な訓練に、島民のみなさんは真剣に取り組んでいました。

東京都生協連は、東京都との災害時基本協定に基づき、缶詰や飲料、炊き出し訓練のカレーライス用の食材などを調達して、辰巳埠頭から搬入しました。新島へはCO災ボメンバーを含む5名が参加して、生協の災害支援活動パネル展示と、パソコンを使った防災クイズを実施しました。親子約100名が参加しましたが、クイズの正答率は高く、日ごろの防災意識が子どもたちにも浸透していることが良くわかりました。



高台避難場所の都立新島高校
に集まった島民のみなさん



パルシステム東京による
緊急物資の搬送訓練



親子で防災クイズを体験中です

大島土砂災害被災者支援活動に東京の生協からも参加しています

台風26号で甚大な被害を受けた伊豆大島への支援を、東京の生協は、東京災害ボランティアネットワークや大島社会福祉協議会、役場や他団体と連携しながらスタートしています。

現時点では、会員生協の役職員に限られていますが、家屋周辺の泥出しや整理などの作業に、11月～12月21日まで、1週間を2回に分けてボランティアを募り、派遣しています。



大島の被害の様子



家屋の片づけを手
伝うボランティア

防災のまち歩きin阿佐ヶ谷

コープ災害
ボランティア
養成講座

養成講座の第2回は11月2日(土)、杉並区の災害ボランティア養成講座と合同で開催されました。90名を超える参加者が8グループに分かれて、防災・減災という視点で、阿佐ヶ谷の街を歩いてみました。災害時を想像して、危険な個所や、役に立ちそうな箇所を、チェックリストを見ながら探した後は、グループごとに防災マップ作りに取り組みました。



講師は東京災害ボランティアネットワークの福田信章さん

【まち歩きの目的】

まちを「防災・減災」という視点で見る。多くの方と一緒にまちを見る。

【まち歩きの効果】

災害時のまちの強みと弱みがわかる。「自分たちのまちは自分たちで守る」意識が生まれる。



地図を片手に約1時間阿佐ヶ谷を歩きました。



グループごとに気づいたことを地図に書き込みます。



危険な場所や、便利な場所の情報がいっぱい防災マップが完成!



最後にグループの発表を聞きました。

普段気付いていないことに気付かされた。新たな発見があり、とても参考になった。(同意見多数)
自分の街を地域の仲間と歩いてみたい。コープで、自治会や消防団、小学校とぜひやってみたい。
普段からの人のネットワーク作りの重要さも実感した。(受講者アンケートより)

東京での被災地支援

親子で集まれ～! わいわい! 広場!!

■9月の広場では、鷺宮すこやか福祉センターの管理栄養士さんから、子どもの栄養についてのお話を聞くミニ学習会を開催しました。「子どもに必要な栄養はバランス良く。」「おやつは小さな食事と位置付けて。」「食べる子どもの片手にのる量が適量。」などのお話がとても参考になりました。学習会の後は、手間をかけずに手軽にできるお弁当づくりもみんなで体験しました。

試食しながらのお昼の交流ではお母さんたちからたくさんの質問も出ました。

今後も、子どもの成長に合わせてこのような学習会を望む声があがっていました。



スーパーのお惣菜を使って簡単なお弁当作りを体験中